

南国市の 学校教育の 取り組み



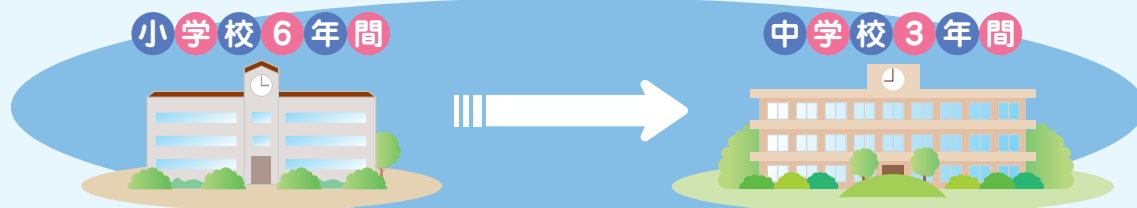
このリーフレットは、本市が平成20年度から重点的に取り組んでいます、各中学校区を中心とした**小中連携学力向上の取り組み**をまとめたものです。義務教育9年間を見通した、系統的・継続的な取り組みを行い、「**学力・気力・体力**」を十分に備え、自らの進路を自らの力で拓くことができる児童生徒の育成をめざしています。

本リーフレットには、各中学校ブロックでの特徴的な小中連携の取り組みも掲載しております。学校教育の取り組みを広く家庭や地域の方々に知っていただき、より一層、学校教育へのご支援、ご協力をいただけることを願っております。「みんなで、次代を担う子どもたちの育成に取り組める!」そんな南国市をめざしていきます。

南 国 市 教 育 委 員 会
南国市小中連携学力向上推進委員会

南国市学校教育指標：「かがやく明日への人づくり」

「学力向上」と「人権教育を基盤とした生徒指導」を両輪として、義務教育9年間で「学力・気力・体力」を十分に備え、自らの進路を自らの力で切り拓く児童生徒の育成を図る。

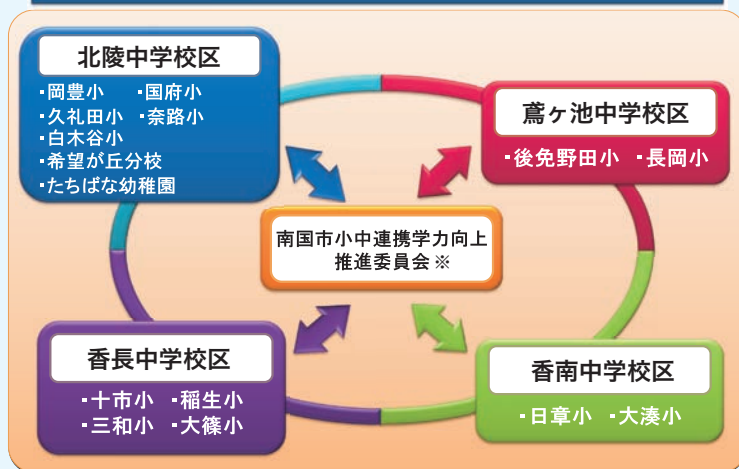


義務教育9年間を見通した系統的・継続的な教育

南国市の小中連携教育の推進

南国市小中連携学力向上推進プロジェクト事業(平成20年度～平成22年度)

南国市小中連携学力向上推進委員会



※各中学校区から1～3名の推進委員を任命し、小中連携学力向上の取り組みについての具体的な計画等について協議を行い、全市的な取り組みを推進しています。

研究内容

- I: 小中連携による組織的な推進体制の確立
- II: 小中連携による授業改善の実践研究
- III: 小中連携による中1ギャップ解消への取組
- IV: 小中連携による家庭学習の工夫改善

◆客観的なデータ・アンケート結果

児童生徒一人ひとりの「学力の定着状況」や「心の状況」を把握し、個に応じた対応・配慮を組織的に行う

実践交流

小中連携による組織的なPDCAサイクル(注※)の確立

●中学校区を核とした

- 小・小連携の推進 ○家庭や地域との連携
- 小中連携を図ったカリキュラム編成 等の取り組みをさらに推進します。

(注※)PDCAサイクルとは

どこに問題点があるかを考えて方向を定め(Plan)、その方向に則して着実に実行(Do)し、その実行結果を客観的に検証(Check)して、改善すべき点を実務に取り組んでいく(Action)。また、それを踏まえて次のPlanを立案していくというサイクル。

南国市小中連携学力向上推進プロジェクト事業 幼小中連携による学校づくりの推進

目的

全国学力・学習状況調査等の結果分析からみられる本市の教育課題の解決に向けて、小中連携による組織的なPDCAサイクルを確立するとともに、地域の特色や課題に応じた中学校区ごとの連携教育の充実を図る。

平成21年度南国市のアクションプラン

南国市教育委員会

PI：推進委員会の設置及び開催(年6回開催)(家庭学習リーフレット、調査Ⅱ、集約、平成22年度のプラン)

①5月28日 ②7月22日 ③10月13日 ④10月26日 ⑤12月3日 ⑥2月25日

PII：4中学校区実践交流の実施(各中学校区の実践発表及びリーフレット・研究集録の作成)

実践交流会 1月16日(土)午後

PIII：学習に関する実態調査の実施(年3回実施)

①1学期 調査Ⅰ ②2学期 調査Ⅰ・Ⅱ ③3学期 調査Ⅰ

PIV：先進モデル校(地域)視察研修 → 小野市(5月14・15日) 横浜市・三鷹市(11月9・10日)(年2回実施)

PV：授業改善のための研修会の開催 → 「これからの授業を考える会」(年2回実施)

①6月20日(土) ②1月16日(土)

PVI：コーチング研修の開催 → 教員の資質・指導力の向上を目指した組織マネジメント研修

①8月3・4日(香長中・香南中学校区)②8月5・6日(鳶ヶ池中・北陵中学校区)

PVII：放課後等学習支援 → スクールサポーター(学習支援員)等の活用

推進校(管内全幼稚園・小中学校)

香長中学校区

・十市小 ・稲生小
・三和小 ・大篠小

鳶ヶ池中学校区

・後免野田小
・長岡小

香南中学校区

・日章小
・大湊小

北陵中学校区

・国府小 ・岡豊小 ・久礼田小
・白木谷小 ・奈路小
・希望が丘分校 ・たちばな幼稚園

研究内容 学力向上のための小中連携による組織的なPDCAサイクルの確立

PI：小中連携による組織的な推進体制の確立 → 課題に基づく具体的行動連携

PII：小中連携による授業改善の実践研究 → 知識・技能等を生かした活用力を育成する授業研究

PIII：小中連携による中1ギャップ解消への取組 → 児童生徒意識調査の活用

PIV：小中連携による家庭学習の工夫改善 → 授業と家庭学習をつなぐ教科経営の在り方

○学力向上のための学校改善プラン

○全国学力・学習状況調査、到達度把握調査、単元テスト、Q-U(2回)

○学校評価(「学力向上」「生徒指導」「家庭・地域・学校の連携」等)

○教育委員会の自己点検・評価

中学校新教育課程拠点校
指定事業(高知県)
(北陵中学校)

平成21年度学力調査活用アクションプラン
推進事業(文部科学省)
教育のまちづくり推進事業

高知県英語教育改善のための
調査研究事業(文部科学省)
(香南中学校ブロック)

研究の構想図

教育目標

心豊かに、
たくましく
生きる子ども
の育成

稲生小学校

大篠小学校

新しい時代を
創造する
人間性豊かな
児童の育成

心豊かで、
たくましい
十市の子どもの
育成

十市小学校

三和小学校

一人ひとりの
個性と能力の伸
長に努め、
健康で心豊かな
児童の育成を
図る

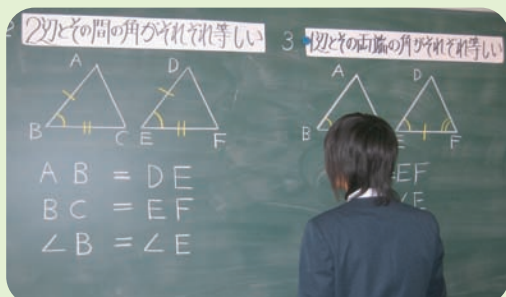
凡事徹底

あたりまえのことで
一目おかれる
生徒を育てる

香長中学校

南国市小中連携学力向上プロジェクト

- 学力・気力・体力の向上
- 進路保障
- 学校・家庭・地域との連携



香長中学校区連携教育の3原則

- 子どもを学びの主役に
- 学習・生活のつながり
- 地域の子どもを育てる



研究主題

学力向上に向けた小中連携教育の充実と推進

育てたい 児童・生徒像

自らの力で自分の進路を切り拓く児童・生徒

学力向上協議会

連携委員会

推進委員会

● 基礎確認テスト

中学校の学習に入りやすくするために算数(小6の2月)、理科(中1の4月)の基礎確認テストを行っています。

この結果により、中学校入学時の指導計画の見直し、小学校の教科書や教材の利用、小中の学習内容の系統性の確認を行います。



● 合同教科部会

国語、算数・数学、英語・外国語活動の3部会を開催しました。各教科の共通の課題や小学校のうちに身につけていきたい力や学習習慣についてなど話し合い、2学期以降に繋がるように取り組んでいます。

また、標準学力調査、基礎確認テスト結果等の客観的なデータを積み重ねて課題を明らかにして解決する取り組みを行っています。

● 不登校にならない学校づくり

不登校や休みがちな児童・生徒の継続的な支援をチームで行うために小中の教員、関係者で合同支援会を組織しています。より効果的な支援ができるようになり、中1ギャップの解消につながっています。



平成 21 年度のおもな取り組み

4月	理科基礎確認テスト	中学校1年を対象
5月	小中連絡会	小学校の担任による中1の授業参観
8月	合同教科部会	国語、算数・数学、英語・外国語活動
10月	出前授業	社会、算数・数学、理科、英語、美術
11月	合同研修会	三和小学校研究発表会
1月	合同研修会	大篠小学校研究発表会
2月	合同研修会	県外先進校研究発表会参加
	算数基礎計算テスト	小学校6年を対象

小中9年間で育てます

三校研
(学力向上)

南国市小中連携
学力向上推進プロジェクト

長岡小



後免野田小



学力
進路保障

鳶ブ口人権
(人権教育)

鳶ヶ池中



三校P
(PTA連携)

連携の柱

○三校研

(三校学力・進路保障研究推進委員会)

『一人ひとりの子どもに、確かな学力と輝く未来を保障するために』
～ともに歩むなかまとして、つながりを～

○鷺ヶ池中学校区ブロック人権教育研究協議会

『人権・同和問題学習を自らの課題として取り組み、
保・幼・小・中・高・家庭・地域・行政の交流を深めよう。』
『すべての子どもの人権を尊重し、学力・進路保障を
めざした具体的な取り組み・実践をしよう。』

○三校PTA代表者会

『鷺ヶ池中学校区の保護者・教職員が
活動を通じて連携を深める。』

「学校教育目標」&【研究テーマ】

☆長岡小学校

「人間尊重の精神を基盤として、一人ひとりの個性と能力の伸長につとめ、
健康で豊かな人間性の育成」
【確かな学力・豊かな人間力の育成 ～考える力を育む指導法の工夫・改善～】

☆後免野田小学校

「一人ひとりの個性と能力の伸長に努め、たくましく、心豊かな後免野田の子の育
成」
【豊かな心を育み、生きる力を培う食農教育 ～主体的に学びあう授業をめざして～】

☆鷺ヶ池中学校

「あたたかなまなざしと豊かな感性を持ち、主体的な学習を通して
自己実現をめざす地球市民の育成」

平成21年度・小中連携の主な取り組み

①三校研推進委員会等(9回)＜小中連携の要＞

[推進委員会・拡大推進委員会・三校教頭打合せ・三校校長会など]

②新入生(中1)対象基礎力確認テスト(4月上旬)

[国語・漢字の読み書き、算数・基礎計算・図形・数量]
*結果分析を小学校へ戻し、授業工夫改善へつなげる。

③小中連絡会(5月)

[新入生を含む全学年の授業公開。]
*新入生及び中学校全体の現状を公開し、小学校の視点を中学校の
取り組みに反映させる。

④三校夏季合同研修会(8月)

[中1標準学力調査結果(4月実施)をもとに、中学校からの現状と課
題の提案。分科会で課題解決に向けた連携について研究協議]

⑤中学校1日体験入学(10月)

[校区小学校6年生児童対象、中学校教科授業体験・部活動体験]
中1ギャップ解消の一環及び中学校側のアピールの場として

⑥中学校説明会(1月)

[校区2小学校の6年生保護者を対象]
中学校及び小中連携の取り組みをアピールし入学者増を図る。

⑦小中連絡会(3月)

[次年度入学予定児童に関する情報交換]
②③⑤⑥と合わせた中1ギャップ解消の取り組みの一環

学力・進路保障

授業の工夫・改善

・校内研修・授業
研究の充実
・外部の視点から
自校の取り組み
を見直す。
(外部講師招聘・小
中間交流)

家庭学習の定着

・宿題
・自主学習ノート
・リーフレット、
手引きの配布
・保護者向けリー
フレット
・サポーター活用

家庭の理解・協力

認め合い・学び合い・高めあえる なかまづくり

人権教育教育の推進

児童生徒・家庭支援

Check

質問 英語の勉強は大切だと思うか？（中学1年生の答え）

そう思う 81%

どちらかといえば
そう思う 14%

どちらかといえば
思わない 5%

思わない 0%

英語の学習を大切だと思
った理由

- 1位 将来役に立つから
- 2位 大人になってから必要になる
- 3位 世界共通語なのでおぼえた方がよい

小学校と中学校の6年間連携した英語教育に関するアンケート調査から

Do



高知高専の体験授業(1年生)

Do



中学校からの数学出前授業

日章小学校



外国語活動の授業 shop



あゆみサミット

香南ブロック小中連携

基本情報の共有

小学校5年 「生活・学習活動 - 学力」の相関 (標準学力検査より)

		項目	上位層 a	中位層 b	下位層 c	a/c	分 析
生活・ 正の相関 学習活動 調査	1	きちんとハミガキをしている	100	100	63	1.6	習慣は、意識して実践する態度の完備。
	2	親から言われなくても進んで勉強している	88	67	50	1.8	「母親が口うるさい」というのは大切。放任では、逆に自律で学ぶ意識が育たない。家庭教師の目的は、社会的な自律を育てることにあるはずだ。
	3	時刻を決めて起きている	88	50	50	1.8	規則正しい生活の習慣
	4	勉強する手順を決めて勉強している	88	33	50	1.8	1 ?
	5	学校での出来事を家族と話し合っている	75	67	38	2.0	家族間のコミュニケーションは重要。学校での出来事を話し、感情の修正が行われている。
	6	好きなことをしないで食っている	75	83	50	1.5	基本的な要求である「食」において好き・嫌いを基準にするのは行かれない。食生活は、食生活の質を高めることには必要だ。
	7	勉強は家族といっしょに食っている	63	50	0	∞	家庭の事情もあるだろうが、子どもを育てる努力は何かと比べ、下位層はともかく、上位層と中位層では「食」の存在が学力向上に貢献しているのか？
	8	学習塾に行っている	63	67	25	2.5	下位層はともかく、上位層と中位層では「塾」の存在が学力向上に貢献しているのか？
	9	時刻を決めて寝ている	63	33	38	1.7	眠る、寝る 大切なことです。寝る時刻が不規則になる理由は？
	10	机に向かったらすぐに勉強を始める	63	50	38	1.7	このようにできることが、望ましい。
	11	勉強する時間を決めて勉強している	38	17	13	3.0	もっとも家庭学習が効果よく(効果的に)できた場合は、家庭が子供の生活と学習への関与。
	12	問題集などを使って勉強している	38	33	13	3.0	11 12 相関があるかもしれないが、上位層でも30%と低い。
小4算内数容		評定平均	3	3	1	3.0	
		正答率の平均	98	82	57	1.7	上位層は、ほぼ全部正解している。 正解率80%では、あと
		正答率平均の全国比	124	105	72	1.7	
生活・ 学習活動	1	勉強・辞書や電子辞書を利用している	50				
	2	学校の運動のほかにも運動をしている	25				
	3	通信教材を利用して勉強している	13				

Check Action

Check

Action

生活と学力の関係調査

Plan

15歳までのPlan

中3

後期

自己決定力
解決力の
育成期

中2

中1

中期

自己認識と
規範的価値観
の統合期

小6

小5

連携的
運営期

小4

前期

基本的な
学習習慣と
生活習慣の
育成期

小3

小2

小1

保

基礎期

人間性豊かで

積極的
生徒指導

学級経営の
充実

・9年間の
学級経営計画
生徒指導計画
キャリアプラン

○教育機能が
高く学びあえる
環境の整備

○人権感覚に
富んだ生活集団
の育成と
コミュニケーション
活動の重視

○自己理解と
目的意識育成

・保護者との
連携による
規範意識
生活習慣
家庭学習
の育成

学習力の
育成

授業改革

中学校
「教えて考える
授業」の実践

小学校
「わかる楽しい
授業」の実践

家庭学習の充実

・学び方指導
・セルフチェック
能力の育成
・習慣化への
ステップ
・学習量の
段階的増加

体力の
育成

体育的活動の
充実

中学校
・体育科授業の
質的向上
・体育行事の
充実
・部活の充実

小学校
・体育科授業の
質的向上
・体育行事の
充実

健全な心身の
育成

・食育指導
・規則的な
生活習慣

集団遊び・なかま



お店屋さん



運動会



太鼓の演技

Do

あけぼの保育所

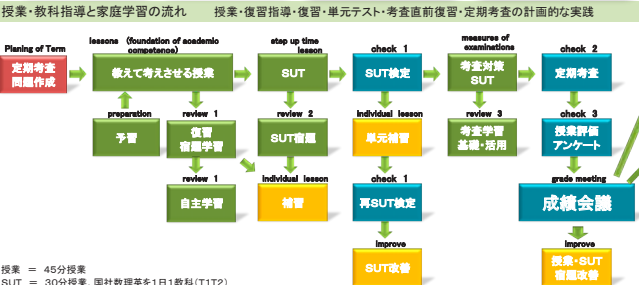
香南中学校



夏の補習



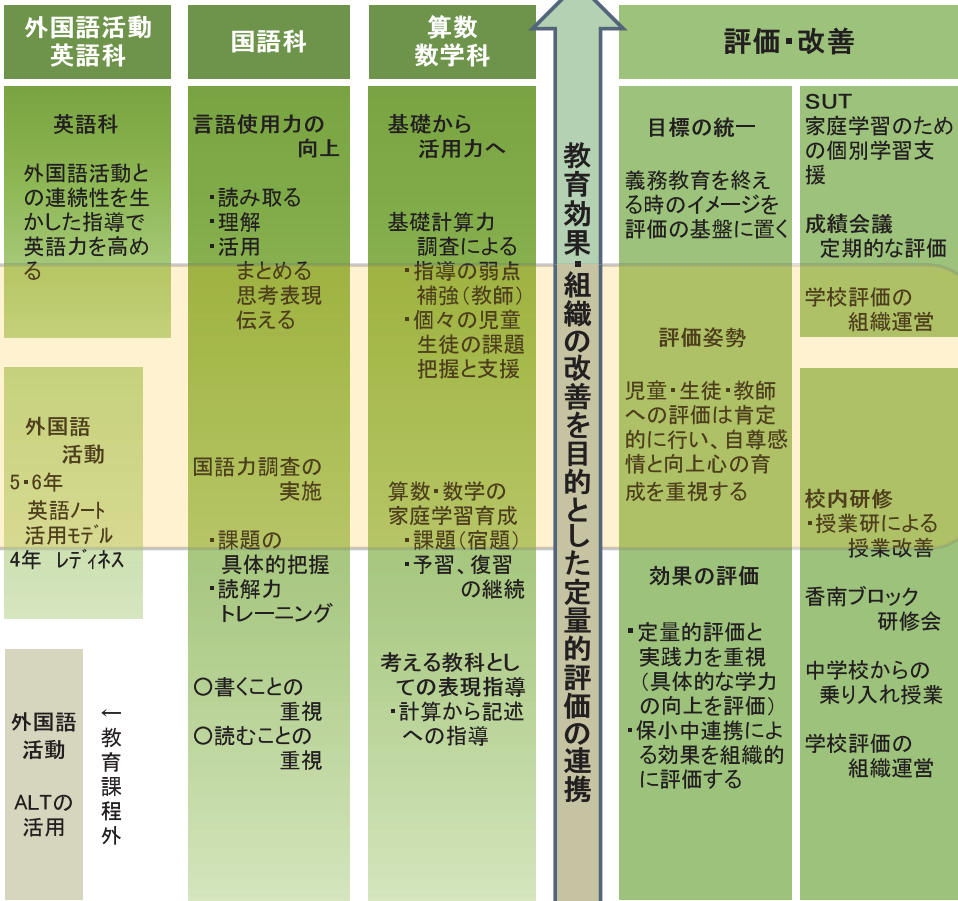
文化祭



学力と家庭学習改善の構想図

CAサイクルの研究が香南ブロック連携の特徴

確かな学力を身につけた児童・生徒の育成



外国語活動の授業 sing



水泳の授業で

大湊小学校



田植え実習

づくり 規範意識・生活習慣・体力づくりの基盤



遊び



お店屋さん



たまご菓子づくり

12月調査		1期	2期	問題数
学年				
1	1 10が何こ、1が3こで			100
	2 10が9こで			100
	3 十の位が4、一の位が7の数は			100
	4 61-()-()=64-()=65-()			100
	5 75-()-()=65-()=55-()			100
	6 大きい方に○をつける 13 15			100
	7 大きい方に○をつける 100 45			100
	8 4×3			100
	9 10÷5			100
	10 5÷6			100
	11 9÷4			100
	12 10÷3			100
	13 15÷9			100
	14 2+3+4			100
	15 10÷5+2			100
2	1 1000をこ、100をこ、10をこ、1をこあわせた数			100
	2 1000をこ、10をこあわせた数			100
	3 1000をこあわせた数			100
	4 1000より2小さい数			100
	5 5を大きくする 49□□ 4999			100
	6 筆算 70÷80			100
	7 筆算 52÷44			100
	8 筆算 67÷57			100
	9 筆算 77÷22			100
	10 筆算 105÷68			100
	11 かけ算 7×6			100
	12 かけ算 3×5			100
	13 かけ算 8×7			100
	14 かけ算 9×2			100
	15 かけ算 6×7			100
	16 かけ算 4×3			100
	17 答えが12になる九九をすべて答える			100
	18 7×5=7×4+□			100

算数基礎計算力調査

大湊保育所



子どもたちをみ

北陵中学校区では、幼稚園、小学校、中学校が連携を進めています。子どもたちの健やかな成長を

たくましく生きる力

- 主体的に学ぶ意欲の育成
- 学力の向上・進路保障

めざす子

確かな学力をもとに、生涯にわたって

学校

学ぶ場・きたえる場

幼小中各校(園)での取り組み

人間性豊かな白木谷の
子どもの育成

白木谷小学校

心身ともにすこやかでたくましく
実践力のある岡豊の子を育てる

岡豊小学校

豊かな心を持ち、共に学び合い、
元気でたくましい子どもを育てる

奈路小学校

ともにによりよく生きようとする
心豊かでたくましい生徒の育成

北陵中学校

心豊かでたくましく生きぬく
児童生徒の育成

希望が丘分校

自ら学び、心豊かに生き生き
活動する児童の育成

久礼田小学校

自ら学び、やさしくたくましい
子どもの育成

国府小学校

心豊かでたくましい
子どもの育成

たちばな幼稚園

幼小中連携の取り組み

- 幼・小・中の12年間にわたる学習・生活のつながりを重視し、北陵中学校区統一授業公開日を設定。個々の子どもの成長と学習を支援し、連携して、学力を高める。
- 各校園の校内研究に参加し、つながりのある学習指導の確立と「中1ギャップ」の解消に努める。
- 6年生の児童が中学校の先生の授業を体験することで、中学校に対してより親密感を持てるように出前授業をする。
- 毎年2学期に一日入学を企画し、中学校の授業体験と部活動体験を実施する。
- 各校園の研究主任を中心に、学力・生活実態を交流し合い、12年間の指導の一貫性について話し合う。
- それぞれの段階でつける学力と具体的な取り組みについて検討し、改善を図る中学校区学力向上研究会を行う。

見守る場

地域

受容する場

- ①教育環境を整え、温かい
- ②子どもの変化に気づき、
- ③家庭や学校を応援し、地



んなで育てよう

携して一人一人の子どもの成長をサポートする取り組み、学校・家庭・地域が共に力を合わせましょう。



どもの姿

その人らしい豊かな人生を歩む子ども

豊かな人間性

- 生活習慣の確立
- 豊かな人間関係の構築

家庭

やすらぐ場・しつける場

- ①基本的な生活習慣
- ②早寝・早起き・朝ごはんで生活リズム
- ③挨拶・礼儀・規範意識・社会的ルール
- ④家庭学習を支えて、学習環境を整える。
- ⑤子どもの話をしっかり聞き、お互いに豊かなコミュニケーションを図る。
- ⑥子どもの頑張りを褒め、自尊感情を育む。
- ⑦やさしさなどの豊かな人間性を育て、堅実な行動や金銭感覚を身につける。
- ⑧目標に向けて努力し、夢や希望を持って、将来の進路や職業を語る。



風土を創造し、子ども達を育てていく。
声をかけ、規範意識や社会のルールを学ばせる。
域全体で子どもを育む姿勢を持つ。



家庭学習100%の南国市



家庭学習の習慣が身につく3つのポイント

ポイント② 学習習慣づくり

- ①決まった時間になったら机に向かう
- ②机の上は学習用具だけ
- ③「ながら勉強」をしない
【テレビ・食べる・ゲーム・メール】
- ④文字をていねいに正しく書く
- ⑤まず宿題をする
- ⑥できれば宿題以外にも予習・復習をする
【小学校4・5年生ごろから】
- ⑦いろいろな本をたくさん読む

ポイント① ご家庭の方の関わり

- ①早寝・早起き・
朝ごはん
【生活リズムを整えよう】
- ②親からすすんであいさつをしよう
- ③子どもの行動に関心をもとう
- ④親子の会話を大切にして、子どもとのふれあいをもとう
- ⑤子どものがんばりを具体的にほめよう
- ⑥読み聞かせや一緒に本を読む時間をもとう

学習時間のめやす ポイント③

- 小1 20分 以上
- 小2 30分 以上
- 小3 40分 以上
- 小4 50分 以上
- 小5 60分 以上
- 小6 70分 以上
- 中1 80分 以上
- 中2 90分 以上
- 中3 100分 以上

パターン①

午後4	5	6	7	8	9	10	11			

パターン②

午後4	5	6	7	8	9	10	11			

パターン③

午後4	5	6	7	8	9	10	11			

家庭学習の計画をたてよう
(食事、勉強、寝る時間など
を書き込みましょう。)

計画をたてよう
プラス♡

南国市家庭学習の手引き

南国市小中連携学力向上推進委員会
南国市PTA連合会
南国市教育委員会

学校名 名前